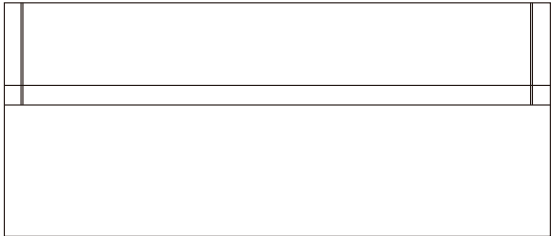


B-500M

メールボックス取扱説明書

ダイヤル錠式ロック・前入後出タイプ



(投函側)



(取出側)

B-500M-K12 (W280×D400×H120)

B-500M-K15 (W280×D400×H150)

使用上のお願い

- ☐ 必要以上に強い力で扉を閉めないでください。閉めた時の音が居住者の方々へのご迷惑になるとともに、本体や鍵を破損する恐れがあります。
- ☐ 扉やメールボックス本体の底面にぶら下がったり、物を掛けたりしないでください。変形や破損の原因になります。
- ☐ 貴重品や重要書類、鍵、危険物などの保管用として使用しないでください。
- ☐ 郵便物を溜めず、こまめに取り出すようにしてください。大量の郵便物が溜まると、本体の変形や破損の原因になります。
- ☐ お客様自身で、メールボックス本体および扉、鍵の分解修理をしないでください。
使用上の不具合が発生した場合には、すみやかに管理人様もしくは管理会社様に連絡してください。
- ☐ 鍵の暗証番号をお忘れになった場合は、管理人様もしくは管理会社様に連絡してください。

メンテナンスについて

- ☐ 当メールボックスの扉などは塗装仕上げもしくは、化粧シート(塩ビシート)貼りになっています。汚れた場合には、やわらかい布などで軽く拭き取るようにしてください。シンナーなどの溶剤や研磨剤入り洗剤、たわしやヤスリなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませたやわらかな布などで軽く拭き取り、洗剤や水分を十分に取り除いてください。

本製品の保証及び免責事項内容について

保証期間

竣工引き渡し日より2年間で製造上に起因する故障が生じた場合は、無償で修理いたします。

本製品は通常郵便の受箱とし、現金・有価証券・重要書類・宝石・貴金属等の貴重品、部屋の鍵等の保管に適していません。いかなる配達物・内容物であっても、本製品の故障の有無にかかわらず盗難あるいは紛失・損傷・汚染した場合、当社はその責任を負わないものといたします。なお、次の場合は保証期間中であっても「有償修理」と致します。

- 取り扱い上の不注意や不適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する損傷
- 専門業者以外による修理・分解などに起因する損傷
- 塗装の色あせなど経年変化、または使用に伴う摩耗などで生じる外観上の現象
- 犯罪などの不法行為に起因する不具合、損傷、盗難、損害
- 郵便物の溜め込みすぎによる錠や投入扉が開かなくなるなどの損傷
- 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波等天変地異または、爆発事故、暴動等破壊的行為による損傷
- 海岸付近や台風など空気環境、雨水に含まれる成分や工場、鉄道、道路周辺の大気に含まれる成分に起因するもらい錆、腐食、塗料の剥がれ、樹脂部分の変質、ひび割れ
- その他当社の責に帰すべき事由によらない損傷

ダイヤル錠の使用方法

解錠番号例

(右7・左8の場合)



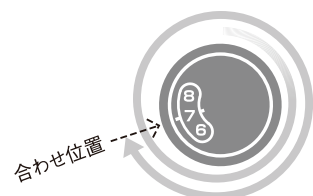
 解錠番号の変更はできません。

付属品

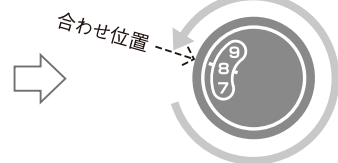


解錠番号シール1枚

1 解錠方法

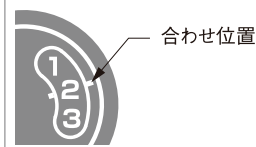


①はじめにダイヤルを右へ**2回転以上**回してから7(親番号)に合わせます。

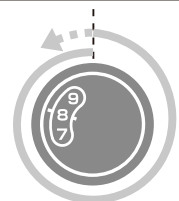


②次にダイヤルを左回して8(子番号)まで回すと解錠されます。ダイヤルを引くと扉が開きます。

合わせ位置とは…
3つ見える数字の真ん中が
合わせる数字になります。
(白い印が付いています)



2 施錠方法



①解錠状態のまま扉を閉めます。
②ダイヤルを**左に1回転以上**回します。

 1回転以上回さないと、子番号に合わせるだけで解錠してしまう場合があります。

ダイヤル錠の解錠番号シールは本説明書に貼り、大切に保管してください。

「錠記号」というシールは、解錠番号がわからなくなった場合に手がかりになる記号が書かれたもので、郵便受箱の内部にも同じ物が貼ってあります。こちらも予備として保管をしてください。

解錠番号・錠記号シールを貼って下さい。

ダイヤル錠が解錠できなくなってしまった場合

上記の解錠方法のとおり、はじめに右回しで2回転以上回して頂いておりますでしょうか？
今一度、正しい方法での解錠をお試しください。

ダイヤル錠の解錠番号がわからなくなってしまった場合

投入口から郵便受箱の内部を覗いて頂くと、錠記号シールが貼ってあります。この錠記号をご確認の上、製品名と併せて **株式会社ユニソン** までご連絡ください。
(解錠番号の照合・回答にあたり、トラブル防止のためご本人様確認を頂いております。あらかじめご了承ください。)

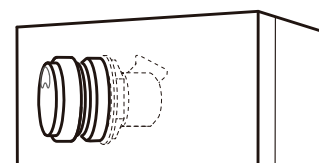
錠記号シール



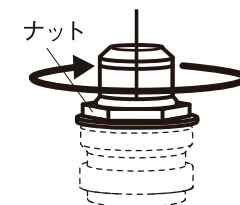
ダイヤル錠の交換方法

1 外し方

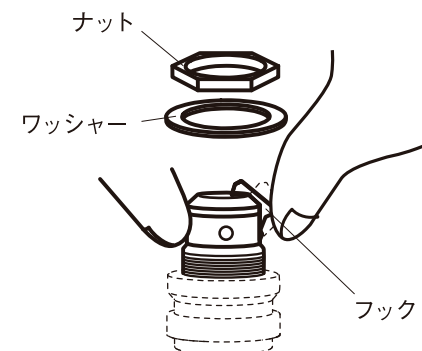
錠を解錠状態にしてから作業してください。



① ナットを左に回します。



② フックを傾けながらナットとワッシャーを外します。



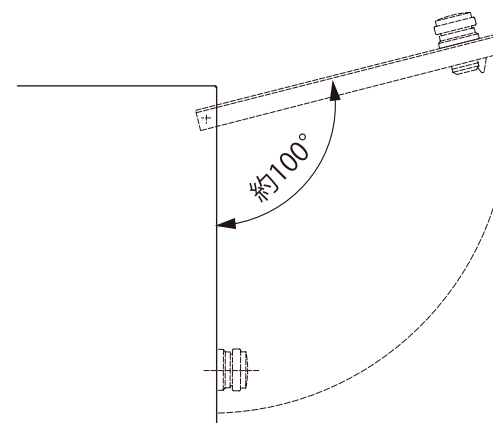
2 付け方

上記 ② → ① の手順で付けてください。

扉の取り扱いについて

1 扉を開けるとき

解錠番号をセット後、手前にゆっくりと引いて開けてください。



2 扉を閉めるとき

ゆっくりとカチッと音がするまで閉めて下さい。その後ダイヤル錠を回して施錠してください。

株式会社 ユニソン TKM事業部

〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目28-11 谷口ビル3階 ※JR大井町駅から徒歩3分

修理・
メンテナンス専用

TEL:03-6867-1517

unison-net.com/contact_tkm/

FAX:03-6867-1516